

ま っ さ き に あ な た へ

ま(広)さ(報)き

www.town.masaki.ehime.jp Public Relations

Glistening water, smiling faces and a comfortable town to live. Masaki.



特 集

私の暮らしの選択。

pick up

税の確定申告

家族のきずな

大川元伸さん まりさん
由翔くん 心暖ちゃん

Boys & Girls,
Be Ambitious!

久藤涼太くん

2

February 2013
No.435

私の暮らしの 選択。

私たちの暮らしは、
いろいろなモノに囲まれています。
たくさん買って、消費して、すぐ捨ててしまう。
そんなモノとの付き合い方って、寂しいですよ。
なるべくごみを出さない。
もう一度使えるものは再利用する。
モノを大切にすると暮らし、始めませんか。

編み物をして少しずつ余った毛糸を有効利用。太い毛糸、細い毛糸、赤、青、緑…。たくさんの毛糸を
組み合わせて楽しい靴下に仕上がりました。
(作・池内喜久美さん)



家族のきずな

皆さんから友人知人の家族をリレーで
つないで紹介するコーナーです。お誘
いが来たらぜひ登場してくださいね。



大川元伸さん まりさん
由翔くん 心暖ちゃん (東古泉)

◎Profile

おおかわ・もとのぶ 松前消防署職員。趣味はトレーニング。東古泉
出身。37歳
おおかわ・まり パート。趣味は雑貨集め。福岡市出身。37歳
おおかわ・ゆうと 好きな教科は国語と社会。将来の夢はショッ
プ店員。小4
おおかわ・しおん お絵かきが好き。将来の夢はケーキ屋さん。6歳

東古泉に住む大川さんファミリー。何でも話せる
にぎやか家族です。最近1番の思い出は、初めて家
族で旅行に行ったこと。心暖ちゃんの絵がコンク
ールで入選し、USJに招待されたそうです。「お父さん
の仕事が不定期だから、なかなか家族で一泊旅行
って行けなくて。せっかくだし、タイミングもよかった
ので、みんなで行きました」とまりさん。「とっても楽
しかったよ」と由翔くんも心暖ちゃんも、忘れられ
ない思い出ができたようです。「ここ行ったよねとか、
子どもの記憶に残したい。みんなでいろいろ行きた
いね」と元伸さんは話します。

兄弟は、二人とも活発で頑張り屋さんだと言いま
す。元伸さんは「練習したいけんキャッチボールし
てとか、マラソン大会があるけん走りに行こうとか
言ってくれるのでうれしいですね」とにっこり。これ
からの子どもたちの成長についてご夫婦は、「いろん
な経験を積んで、何かあっても乗り越えていける人
になってほしい」と話し、「お互いを思い合える家族
でいようね」と4人で思いを分かち合っていました。

今回は、心暖ちゃんのお友達、門脇来愛ちゃん＝恵
久美＝家族をご紹介します。

Contents

- 02 家族のきずな 大川元伸さん・まりさん・由翔くん・心暖ちゃん
- 03 特集 私の暮らしの選択。
- 10 税の確定申告
- 12 Monthly Topics まさき・まつまえ姉妹都市ふれあい交流/成人式/消防出初式
- 14 まちのわだい 青パト隊/新春年賀のつどい/昌農内どんと焼き/バトミントン大会
- 15 News 消防緊急通信指令システム導入/放課後児童クラブ入会希望者募集ほか
- 21 消防署だより
- 22 Information 県政モニター募集/河川愛護モニター募集/消費力アップ通信ほか
- 24 公共施設からのお便り 図書館/包括支援/公民館
- 26 Smile & Smile 1歳です よろしくね/食育メニューコンクール入賞作品レシピ/
Boys & girls Be, Ambitious! 久藤涼太くん/
ふるさと歴史散歩
- 28 行ってこーわい 会ってこーわい 気楽ヨガ教室



表紙

「こんなちよっぽど残った毛糸も、
よう捨てれんのよ。何かできんか
なと思って」と、残り糸を組み合わせ
て一針一針でいねいに靴下を
編んでいく池内喜久美さん(90)
＝東古泉＝。モノを大事にして暮
らしています。

●表紙の“Glistening water, smiling faces and a comfortable town to live. Masaki.”は
キャッチフレーズの「水きらめき 笑顔あふれる ライフタウン・まさき」です。

何気なくモノを買ったり、使ったりして過ごす日々。
毎日の暮らしを、少しでも見つめ直すきっかけになればと、
それぞれの価値観で暮らしを紡ぐ、4人を訪ねました。



毎日の食事づくり) 使い込んだ台所用品が並ぶキッチンで、ていねいに、それでいて手際よく調理。古い着物で作ったエプロンはお気に入りの1枚

無駄を出さない工夫 ◇伊賀上勢子さん

「今日はほうれん草で、ごま和えと油炒めを作ろかね」

徳丸の伊賀上勢子さん(83)。手際よく料理していきます。ほうれん草は自宅から少しのところにある畑で作ったもの。いっぱいできたので、ゆでて冷凍保存しておきました。

「いろんな野菜をちょこちょこ作りよんの。お野菜できるときはいっぱんにできるでしょ。無駄にしたくないけん、私は冷凍しとくの。ダイコンもネギもエンドウも。特にお豆さんは、虫がつきやすいけん、すぐくええんよ」とにっこり。

畑で収穫した野菜や知人にもらった野菜は、漬物にしたり、鮮度が落ちる前に冷凍保存したりするのが勢子さん流。解凍は自然解凍です。

「レンジ使わいでも、早く出しといたらええ。それだけのこと」

勢子さんが大事にしているのは、常にどうすればいいか考えること。



冷凍保存) 家の大きな冷凍庫には野菜がいっぱい



料理) 味付けはごくシンプルに。上から、ほうれん草のごま和え、ほうれん草の油炒め、サツマイモの素揚げ

買って調達するのではなく、つくる、あるものを工夫するが基本姿勢。口にするものだけでなく、身につけるものもそうです。

旧制中学校のときから和裁も洋裁もしていた勢子さん。当時の夢は、洋裁で身を立てることでした。

「父を3歳で亡くして、母は女手」人で苦労しながら妹と私を育ててくれた。私はみんなが着とるもんが着たくて、洋裁学校の人に製図のとり方だけ教えてもらった。それから本を読んで自己流だね。農業せないかんかったけど、農閑期にはいつも洋服を作りよった。子どもの服はみな作ったもんよ」



二度目の人生を生きる着物) 昔は踊りをしていたという勢子さん。着なくなってしまった着物は、普段使いの洋服へとリメイク

長女の高校の制服も勢子さんが作りました。子どもたちは、勢子さんの愛情いっぱい服に包まれながら成長したのです。

「それこそ、子どもらが『えっ、洋服って買うもんやったん?』っていうたぐらいいよ。好きやったけんね。何も苦じゃなかった。セーターなんかかね、やっぱり買うより、手で編みたくて、手編みをなろうたんよ。機械編みもなろうたけど、限度のある機械よりも、いつまでも使える棒針がええ。いつでもどこでも編めるしね」

タンスには、作った服がずらり。その中には、着なくなってしまうものもあると言います。

「服を見つめては、こよにしたらどうやらかつて考えて手を入れるんよ」そうしてお直しされた服は、セーターの袖をとって編んだベスト、着物をくずして作ったズボンやエプロンなど、魅力的な一着へと生まれ変わります。

時間もモノも効率よく使う勢子さん。手作りに精を出す何よりの理由は、健やかに暮らしてほしいと願う家族への愛情なのかもしれません。



近くの畑で作る野菜) ネギ、ダイコン、カブ、ジャガイモ、キャベツ、ブロッコリー、ナス...などなど、1年を通していろんな野菜を少しずつ作ります。「畑行くのが楽しみよ」と勢子さんはにっこり

使い続ける工夫

◆池内喜久美さん

何種類もの毛糸を使って仕上げたカラフルな靴下。花柄やチェックがかわいい布草履。裾のほつれ修正を繰り返してできたグラデーションのセーター。

余った毛糸、着古した洋服で「お直し」を手掛ける池内喜久美さん（90）＝東古泉＝。ダメになったら捨てるのではなく、「どうにか使いたい」といとおしむように手をかけます。

「余った毛糸で作るけん、この靴下、不格好やね」と喜久美さんは、はにかみますが、「かわいらしくてあったかい」と、家族や知人に大人気です。

「とつといた反物を、布草履にしたこともあるんよ。いろんなことを思えて涙が出よったけど、草履にしてみんなが喜んでくれたけん、幸せよ」と話します。

「モノのない時代に暮らしたけ

モノ選びを考える

◆矢野美由紀さん

中川原にある青い屋根の平屋で、器や手仕事のものを扱っている「かりん」。店内には全国の職人が作った陶器や染織物などが並びます。オーナーの矢野美由紀さんが、工房や窯元を訪れて選んできたものです。

「昔ながらの知恵を生かして、コツコツと人の手で作られたもの、そこにまつわるものづくりの話を聞きたくて。手作りの温かみ、手仕事の良さを伝えていきたいんです。モノはモノでしかないけれど、その背景を知るって大切だと思います」

例えばお店にある「こぎん刺し」は、津軽地方に伝わる伝統的な刺し子のこと。雪国の寒さをしのいだり、毎日の農作業で服がすれて痛むのを縫いだりするために一本一本縫われてきたものです。

「人は、便利なものを求めてしまいうけれど、その半面で、手作りの良さがあります。手仕事の良さを見直



手仕事のモノが並ぶ店）古民家を改装したどこか懐かしい「かりん」で、美由紀さんは手作りの温かみ、手仕事の良さを、作り手から使い手へと伝えています



編み物）昔から編み物が好きな喜久美さん。残った毛糸で靴下を編むのが最近の日課です。昔編んだ「襟巻き」「セーター」を身につけ、「座布団」に座って



沖縄やちむん）壺屋焼の伝統的手法を守りつつ、斬新な形に取り組み、現代の生活に合う器を生み出しています



こぎん刺し）江戸時代、麻の作業着の防寒と補強を兼ねて刺繍したことが始まり

し、今の暮らしに便利なものと、上手く合わせられたらいいですね」
モノが飽和状態の中で、自分が何を選ぶかというのは、そのものに一票を投じることだという美由紀さん。じっくりと選んで、できれば長く使ってほしいと言います。

「ずっと使いたいものって、値段の価値ではなく、使い勝手の良さだったり、選ぶことにストーリーがあるものだったり、『どれだけ気持ち達めて選んだか』じゃないですかね」

矢野さんは手仕事の良さだけでなく、ずっと使い続けるモノ選びのヒントも教えてくださいました。

ん、もったいなくて、よう捨てれん。お弁当の箱もタッバーも、洗って使う。残りもんやら保存しとくのちやうどええんよ。若い人が聞いたたら、ケチくさいと思うやろうけど、いたんだら直したらええ、汚れたら洗うたらええ。すぐに捨てるんはもったいないけん。どんなもんでも、作ってくれた人は大変やったんやろうなと思うたら、捨てられんよ」

今あるものを長く大切に、かつ、楽しく使い続ける池内さんからは、モノに対する深い愛情が伝わってきます。



レジ袋）きれいにたたんで保存。ちよつと使うのに便利。ケースは近所の駄菓子屋さんから譲り受けたもの



布草履）着なくなってしまった浴衣やシャツで作った布草履。思い出がいっぱい詰まった一足です

「捨てない」がくれる新しい発見
◇ NPO法人アジアキッズケア

寒さ厳しい1月20日、NPO法人「アジアキッズケア」では、月1回の荷造りボランティア活動が行われていました。北川原にあるプレハブの小さな事務所には、全国から寄せられた支援物資が山積み。学生、社会人、愛媛大学の留学生らが肩を寄せ合うようにして、段ボール箱に不要になった衣類や文具を詰めていきます。大事にしているのは、作業的ではなく、相手の生活をイメージして届けること。



荷造り) 全国から送られてきた物資を仕分けし、段ボールへ

「先月はガーナへ6箱を送りました。今日のはインド行き。暑いところなので、薄手の服を中心に入れよう」と呼び掛けるのは、主催者の喜安勝也さん(北川原)。「子どもの命を守りたい」と、9年前、ご夫婦がこの団体を立ち上げました。荷物は留学生の家族、日本から帰国した留学生、孤児院を運営している牧師らを通じて、貧困地域の子どもたちに手渡しで届けられます。

これまでに、マラウイ、ケニア、タイ、ネパールなど11カ国に支援物資を送付しています。現地協力者からは、贈呈の報告書が定期的に送られてきます。報告書には、感謝の言葉、喜びの笑顔写真があふれます。

「愛媛を離れた荷物は、アフリカなら船便で約5カ月、段ボール一箱に7000円程かかります。現地の物価なら、送料で随分な品が買えます。モノだけでなく気持ちも届かな



現地のニーズに合わせて) 留学生から母国の状況を聞き、現地のニーズに合わせて荷造りしていきます



愛と真心を添えて) 段ボールに書かれた「手から手へ」のメッセージ。支援物資には愛と真心が詰まっています



笑顔を見せる子どもたち) アジアキッズケアの支援で、貧困地域の子どもたちに笑顔が広がっています



たくさんの人から人へ) 留学生、小中高大学生、社会人…毎回たくさんの人の協力で荷造りが完成



ピアノ) サハラ砂漠のマリの子どもたちにとって、支援物資のピアノは宝物



インド・チェンナイ支援) タンガチャン牧師が運営する孤児院の子どもたちの生活や教育を支援

いと成立しないんです」

荷造りボランティアは、毎回やりたい人が自由に参加する仕組みです。ホームページを見て一人でふらりと来る人や県内のボランティア情報を見て来る人が多いといいます。それから、学校単位で協力してくれることも。

「日本の体操服は、夏は涼しく、冬は暖かい素材で丈夫なため、外国ではとても喜ばれます。ノートや筆記用具は、学習するために貴重なものです。ピアノは、呼吸器を使って演奏する楽器で、電気製品でないので現地の子どもたちにとって宝物。電気設備すら届いていない所に住んでいるからです」

喜安さんは「一人じゃできない活動です。全国の人、留学生、みんなの真心のおかげで、笑顔が広がっています。そして何より、支援する側のこちらが、本当の豊かさを教えられているのだと思います」と語りました。

モノを大事にしてきた日本人の心、知恵や技の詰まった手仕事の良さ、物質的に恵まれない国があるという事実…皆さんは、これからどんな暮らしを選択しますか。



ケニア・キスム支援) 支援物資を受け取るケニアの人たち。留学生とその母親の協力で、両親を失った孤児たちを支援しています

松山税務署からのお知らせ

▶ご利用ください 振替納税制度

所得税や個人事業者の消費税の納税方法は、振替納税が安心で便利です。新たに振替納税を希望する場合は、税務署が預貯金先の金融機関に「預貯金口座振替依頼書」を提出してください。平成24年分の所得税の振替納付日は、4月22日(月)です。

▶さらに便利で使いやすくe-Tax

自宅や事務所から申告や納税ができるサービスです。国税庁ホームページ「確定申告書等作成コーナー」で作成したデータをそのまま取り込み、電子申告することができます。

◎e-Taxのメリット

- ①ホームページから簡単申告
 - ②確定申告期間中は、24時間提出(送信)可能
 - ③最高3000円の税額控除(23年分までの申告で適用を受けた人は対象外)
 - ④添付書類の提出省略可
 - ⑤還付金がスピーディー
- 詳しくはe-Taxのホームページ(<http://www.e-tax.nta.go.jp>)をご覧ください。

※e-Taxでの電子申告には、電子証明書付きの住基カードやICカードリーダーが必要となります。

▶にせ税理士に注意

税務相談は、税理士または税理士法人でなければできないことが法律で規定されています。にせ税理士には、くれぐれもご注意ください。

▶松山税務署での確定申告相談

期 間 所得税 2月18日(月)～3月15日(金)
贈与税 2月 1日(金)～3月15日(金)
消費税・地方消費税 ～4月 1日(月)

※土・日曜日、祝日を除きますが2月24日(日)、3月3日(日)は実施します。

時 間 9時～16時

場 所 松山税務署(松山市若草町4-3松山若草合同庁舎)

内 容 所得税、贈与税、消費税・地方消費税の申告書類などの作成

持参品 右記の「申告に必要なもの」参照

●松山税務署 ☎941—9121(自動音声案内)

町県民税

申告が必要な人

平成25年1月1日現在、町内に住所があり、前年中の状況が次の①～③のいずれかに該当する人です。
ただし、所得税の確定申告をした人は必要ありません。

- ① 営業、農業、パート、不動産、配当などの収入があった人
- ② 給与所得以外の収入があった人
- ③ 年金を受給している人

申告に必要なもの

- ① 印鑑(認印で可)
- ② 税務署から申告書を送付されている人はその申告書
- ③ 給与や年金の平成24年分の源泉徴収票
- ④ 営業、農業、不動産所得がある人は、収支内訳書(収入、

- 経費を必ず集計して来てください)
- ⑤ 社会保険料、生命保険料、地震保険料などの控除を受ける人は、領収書や支払(控除)証明書
- ⑥ 医療費控除を受ける人は、支払った医療費の領収書(必ず集計して来てください)
- ⑦ 還付金の受取口座(本人名義)番号が分かるもの

所得税

申告が必要な人

▽給与や退職所得以外の所得の合計が20万円を超える人
▽給与を2カ所以上の事業所からもらっている人
▽年金の収入金額が400万円を超える人または年金以外の所得が20万円を超える人
▽事業をしている人、不動産

収入がある人、土地や建物を売った人などで、平成24年中の所得合計額が基礎控除、扶養控除などの所得控除の合計額を超える人
▽平成24年中の給与収入が20万円を超える人

還付申告

申告の必要がない場合でも、次のような人は、申告をする
と源泉徴収された所得税が還付される場合があります。
▽住宅借入金等特別控除の適用を受けることができる人
▽年末調整を受けていない人

▽医療費控除や寄附金控除を受ける人など
※還付を受けるために確定申告をする場合は、給与や退職所得以外の所得の合計が20万円以下でも、これを含めて申告しなければなりません。

2月18日(月)～3月15日(金)

税の確定申告

確定申告期間中は、
下記の日程で申告相談を実施します。
期限内に申告をしなかったり、
誤った申告をしたりすると、
後で不足の税金を納めることになるだけでなく、
加算税や延滞税も納めなければなりません。
正しく早めに申告しましょう。
不動産、株式(特定口座以外の場合)などの譲渡所得がある人は、松山税務署で申告してください。

◆役場申告会場

日時 2月18日(月)～3月15日(金) (土・日曜日は除く)
9時～11時30分、13時～16時

場所 役場2階大会議室

◆各地区公民館・集会所

期間	9時～11時30分	13時～16時
2/21 (木)	—	徳丸
22 (金)	大溝	中川原
25 (月)	東古泉	鶴吉
26 (火)	横田	出作
27 (水)	永田	神崎
28 (木)	北川原	大間
3/1 (金)	恵久美	上高柳
4 (月)	塩屋	昌農内
5 (火)	南黒田	西高柳
6 (水)	新立	西古泉
7 (木)	本村	筒井
8 (金)	宗意原	北黒田

●町県民税について 税務課町民税係 ☎985-4110
所得税について 松山税務署 ☎941-9121



1年の無火災を誓って

平成 25 年消防出初式

「平成 25 年松前町消防出初式」は 1 月 13 日、松前公園多目的広場で行われ、消防団員など消防関係者が集い、火災予防意識の決意を新たにしました。

10 時から行われた式には、松前町消防団、松前消防署などから約 500 人が参加。オープニングセレモニーでは、北伊予中学校吹奏楽部が演奏を披露し、松前町少年消防クラブ員が防火標語を掲げて火災予防を呼び掛けるなど、式典に華を添えました。分列行進、車両行進と続き、最後は一斉放水が披露されました。

また、活動に功績があった団員や団体への表彰状伝達も行われ、被表彰者を代表して、第 5 分団分団長の水口泉さんは「これからもさらに消防精神に則り、業務に精励します」と謝辞を述べました。

表彰された人は次のとおりです（敬称略）。

▶知事表彰

第 5 分団 分団長 水口 泉

第 4 分団 副分団長 西村 健二

▶愛媛県消防協会長表彰

< 竿頭綬 >

松前町消防団

< 功績章 >

横田班 分団長 日野 徹

< 勤続章 >

北川原班 班長 大川 泰範

新立班 団員 穴山 修三

中川原班 団員 加藤 正和

神崎班 団員 高石 利彦

西古泉班 団員 竹田 重光

塩屋班 団員 戒田 康宏

< 規律章 >

東古泉班 班長 三好 学

横田班 団員 徳本 耕治

本部 班長 高森 由起

本部 班長 仙波 里江

< 親子団員表彰 >

恵久美班 団員 池内 成和

恵久美班 団員 池内 克次

< 団体感謝状 >

岡田小学校少年消防クラブ

< 家族内助の功労者 >

第 2 分団団員夫人 本間 療子

第 6 分団団員夫人 渡部 美穂

第 7 分団団員夫人 仙波 里江

第 8 分団団員夫人 重川 三枝

本団副団長夫人 嘉村 敦子

▶纏会長表彰

第 1 分団 南黒田班

第 6 分団 大溝班

第 9 分団 西高柳班

▶町長表彰

< 個人表彰 >

（消防団員歴 1 年以上）

第 1 分団 北黒田班 矢野 雅之

北黒田班 大上 博紀

第 2 分団 宗意原班 田島浩一郎

第 3 分団 筒井班 長岡 正晃

第 4 分団 徳丸班 和泉 誠泰

中川原班 本田 喬久

出作班 弓達 俊英

出作班 高都 正富

第 5 分団 神崎班 西岡 大成

神崎班 三原 正己

神崎班 金野 佑樹

第 6 分団 東古泉班 相原 啓司

東古泉班 三好 譲

本団 本部 山崎はるみ



本団 本部 武西 るみ

< 優良班表彰 >

（消防団活動で他の模範となる班）

北黒田班 筒井班

徳丸班 出作班

昌農内班 北川原班

< 特別班表彰 >

（県消防操法伊予地区大会出場）

第 2 分団 第 6 分団

▶日本消防協会長表彰

（平成 25 年 2 月受章者）

< 表彰旗 >

松前町女性消防隊

< 精績章 >

第 4 分団 分団長 藤田 恵三

< 勤続章 >

新立班 団員 京極 司

出作班 団員 西村 成人

西古泉班 団員 重松 美明



ようこそ松前町へ

まさき・まつまえ姉妹都市ふれあい交流事業

姉妹都市である北海道まつまえ町の児童 10 人が 12 月 25 日から 27 日まで本町を訪れました。昨年 7 月には、当町の児童 9 人がまつまえ町を訪問し、まつまえ漬けづくり、甲冑着付けなどを体験してきました。

今回本町を訪れたのは、昨年 7 月に交流した 10 人ということで、松山空港で出迎えた児童は 5 カ月ぶりの再会に大喜び。奥道後での夕食会では、久々の再会に会話が途切れることはありませんでした。

2 日目には、両町の児童 19 人で栗田哲志副町長を表敬訪問。松前町を訪れての感想などを話し合いました。その後、エミフル MASAKI に移動し、ショッピングと夕食を楽しみました。その他、松山城見学、道後散策などを通じて、愛媛の文化に触れ、さまざまな体験を共有しました。

お別れ式では、まつまえ町の泰良真鈴ちゃんが「愛媛県や松前町のことをたくさん知ることができて楽しかったです。また会えることを願っています」とあいさつ。子どもたちは「またね」「手紙書かね」と涙ながらに声を掛け合い、何度も抱き合っていました。子どもたちの交流はこれからも続きます。



㊤初日の奥道後での夕食会。バイキングを楽しみました ㊦2 日目に行った砥部動物園。動物に餌やりをして楽しむ男の子たち



㊧庁舎前で記念撮影 ㊨砥部焼の絵付け体験。思い出の 1 枚が完成です ㊩最終日の道後温泉駅でのお別れ式。別れを惜しみ抱き合う女の子たち



305 人が大人の仲間入り

平成 25 年松前町成人式

成人の日を前に 1 月 13 日、「2013 松前町成人式」が松前総合文化センターで開催され、対象者 305 人のうち 261 人が出席しました。

式の受け付けが始まる 12 時 30 分ごろになると、振り袖やスーツ姿の新成人たちが続々と集合。「久しぶり」「元気やった」と旧交を温める新成人たちでにぎわい、ホールは華やいだ雰囲気になりました。

式は毎年、公募した新成人による実行委員が企画・運営しています。今年は、委員長の出海さんのほか 16 人の委員が準備を重ねてきました。

新成人たちの小学校、中学校時代の写真をまとめた「思い出のアルバム」の上映では、それぞれの学校の思い出の曲が流れ、肩を抱き合って歌う新成人の姿も見られ、出席者は皆、同窓会のような懐かしさに包まれる一時を過ごしていました。



㊤思い出の曲を歌う北伊予校区の新成人たち ㊦式典では記念品が当たる抽選会を実施。当選者は一言コメント ㊧「はい、チーズ」



▼ 12月25日

青パト隊年末パトロール



犯罪や交通事故の増加が懸念される年末年始を控え、青パト隊は12月25日、特別警戒活動をスタートしました。

松前総合文化センター前で行われた「青パト隊年末パトロール出発式」には、警察官や日ごろから町内で活躍している青パト隊員が参加。出発式の後、青パト隊員らはさっそく車に乗り込み、町内の一斉パトロールに出発しました。

▼ 1月19日

どんと焼きで無病息災願う



昌農内コミュニティー広場で、正月飾りを燃やす「どんと焼き」があり、大勢の人が1年間の無病息災を願いました。

竹で作った土台に入れられた門松やしめ縄に火が付けられると、オレンジ色の炎が広がり、竹が弾ける音が勢いよく鳴り響きました。参加者は、竹に刺した丸餅をどんとの火で焼き、笑顔でほお張っていました。

▼ 1月4日

新春を祝って



平成25年新春年賀のつどいは、松前総合文化センターで開催され、町民や来賓など約300人が出席しました。年頭の挨拶で白石勝也町長は義農の精神にふれ、「作兵衛さんは、命を未来につないでくれた。その心を忘れず、私たちもできることをして、義農精神を実践していきましょう」と呼び掛けました。その後、参加者は挨拶を交わして新年を祝い、親睦を深めていました。

▼ 1月20日

息の合ったペアプレーを披露



第35回松前町バドミントン大会は、松前小学校体育館で開催され、参加者は息の合ったペアプレーで熱戦を繰り広げました。結果は以下のとおりです(敬称略)。

▷**一般男子**①河端浩伸・梶野貴博 ②吾野善宣・黒田高弘
▷**一般女子1部**①竹内昌子・加藤芙美 ②谷口和美・本山有香
▷**一般女子2部**①土居真帆・吉岡紗耶加 ②川下未紗・東美来

年金記録、もう一度確認を

日本年金機構は、年金記録問題の解決に向け、これまで「ねんきん定期便」などをお送りし、記録の確認をお願いしてきました。

年金記録に「もれ」や「誤り」がないか心配なときは、パンフレットのチェックリストなどで確認し、近くの年金事務所や役場にご相談ください。パンフレットは年金事務所または役場町民課住民係にあります。

★約9人に1人、年金記録が見つかっています。

◇若いころに勤めていた記録が見つかった
(例) 年額98万円→234万円
◇結婚前の旧姓の記録が見つかった
(例) 年額43万円→154万円

◇名前の読み方が誤って登録されていた記録が見つかった

(例) 年額0万円→137万円
「ねんきんネット」で確認を！

◇「未加入」となっている期間は要チェック。家族の助けを受けて年金記録を発見した人もいます。
◇1月末から、氏名や生年月日などを入力して、持ち主不明の記録に自分の記録があるかどうか調べられるようになりました。

問ねんきん定期便・ねんきんネット専用ダイヤル

☎0570-058-555
HP <http://www.nenkin.go.jp>
町民課住民係

☎985-4106

住基カード 無料期間残り2カ月！

住民基本台帳カードの発行手数料は、3月29日(金)まで無料です(その後は500円)。

住基カードは、顔写真付きのものであれば免許証などと同様に公的な身分証明書として利用できます。写真もその場で撮ります。

▼申請に必要な物 ①官公署発行の写真付き身分証明書+保険証など ②印鑑 ※①をお持ちでない場合は、事前にお問い合わせください。

▼受付時間 平日9時～16時
問町民課住民係

☎985-4105

★緊急出動、より迅速に

3月12日から119番通報の受付場所が変わります

伊予消防等事務組合は、3月12日から「消防緊急通信指令システム」を導入します。これにより、現在、松前消防署で受け付けしている119番通報は、「通信指令室(伊予市にある伊予消防等事務組合消防本部内)」につながるようになります。

これまで、松前町、伊予市、砥部町の各市町で、現場に出動する隊員も119番通報の内容を全て聞いてから出動していましたが、今回のシステム導入で、全ての119番通報が通信指令室に繋がり、指令員が通報を聞きながら管轄の消防・救急隊に出動指令を出すので、迅速な対応ができるようになります。

また、最新機能の位置情報表示機能を備えた同システムは、さまざまな情報を短時間で統合処理し、通報から現場到着までの時間を短縮でき、操作性・信頼性・安全性に優れています。

問松前消防署広報担当 ☎984-3404

★119番通報のかけ方は変更ありません。

通信指令員の指示に沿って、落ち着いてはっきりと答えください。

119番通報は、慌てず、正確に

1. どうしたのか(火事 or 救急 or 他の災害)
2. 災害が起きている場所、目標物は何か
3. 火災のときは、何がどのくらい燃えているか
救急のときはどのような状況なのか
4. 人命の危険、逃げ遅れなどがあるか
5. 通報者の名前、電話番号は

「私のごみダイエット法」募集

●募集内容

ごみの減量のために日ごろから各家庭や各事業所などで取り組んでいることや工夫していることなど

《ごみの減量例》

▷生ごみは絞って水気を切ってから、ごみに出す

▷エコクッキングレシピを活用する など

●応募方法

応募用紙に氏名、住所、具体的な取り組み内容とその効果を記入し、電子メール、FAX、郵送で応募してください。応募用紙は町民課窓口にあるほか、町ホームページからダウンロードできます。

●アイデアの紹介

広報まさき、ホームページ、その他の掲示などで紹介させてもらうことがあります。

●締め切り

2月28日（木）（当日消印有効）

●プレゼント

応募者の中から抽選で30人にエコバッグをプレゼントします。

●その他

応募のあった取り組みを取材させていただきます。場合がありますので、ご協力をお願いします。

●応募先

町民課ごみ対策係

〒791-3192

松前町大字筒井631番地

☎985-4117

FAX 984-8951

✉141gomi@town.masaki.ehime.jp

昨年7月から12月にかけて開催した「松前町地域環境協議会」で協議を重ね、「松前町生ごみ減量リサイクルプラン（案）」を策定しました。この案について、皆さんの意見を募集します。

▼募集期間

2月1日（金）～2月15日（金）

▼プラン（案）の公表場所

町民課ごみ対策係、町ホームページ

▼意見の提出方法

持参、郵送、ファックスまたは電子メールで提出。様式は自由で

「松前町生ごみ減量リサイクルプラン（案）」への意見募集

すが、住所・氏名・性別・年齢を記入してください。

▼結果の公表

提出されたご意見と、それに対する町の考えを後日公表する予定です（個人情報除く）。

▼提出先

〒791-3192

松前町筒井631

松前町役場町民課ごみ対策係

☎985-4117

FAX 984-8951

✉141gomi@town.masaki.ehime.jp

生ごみを微生物で分解する コンポストの実証実験中

松前町は、ごみの減量とリサイクルの推進に取り組んでいます。

家庭から出るごみの約6割は可燃ごみです。そのうち

の生ごみを減らすため、11月9日、役場庁舎敷地内に微生物の働きで生ごみを分解するコンポストを1台設置。減量の効果を確認する実証実験を始めました。松前町保健栄養推進員の有志グループに提供してもらった生ごみを、コンポストに投入しています。今後、生ごみの分解過程を記録し、ごみ減量の施策に反映していきます。



☎町民課ごみ対策係 ☎985-4117

交通災害共済に加入しましょう

2月1日（金）から、平成25年度交通災害共済の加入受け付けを始めます。

もしもの交通事故に備え、家族で加入しましょう。

▼加入資格

25年4月1日に町内に居住し、住民基本台帳に登録されている人や入者の被扶養者で町外に居住する人

▼掛金

大人 700円

中学生以下 300円

▼共済期間

25年4月1日（途中加入の場合

は加入日の翌日）～26年3月31日

▼受付場所

・役場1階町民課コミュニティ係
・税金の出張申告に併せ、各地区の公民館や集会所で受け付け

▼申し込み方法

今月号の広報まさきと一緒に配布している申込書に必要事項を記入し、掛金と合わせて受付場所までお持ちください。

☎町民課コミュニティ係

☎985-4228

交通死亡事故ゼロ達成！

平成24年中、松前町における交通死亡事故はゼロでした。皆さん一人一人の交通安全意識向上の輪が広がっている結果です。しかし、小さな接触事故はまだ数多く発生しています。毎日が交通安全です。



12月21日、伊予署前の国道で年末の交通安全茶屋を実施し、ドライバーに安全運転を呼び掛けました。

☎町民課コミュニティ係 ☎985-4228

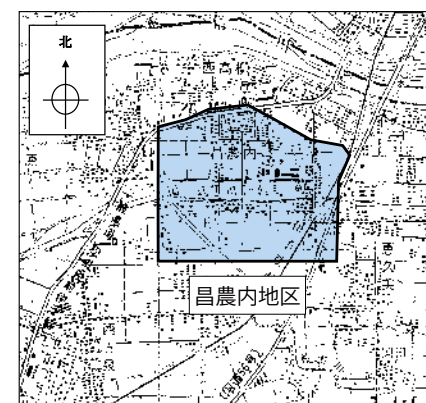
地籍調査成果の登記事務が完了

平成22年度に現地調査を行った「昌農内地区」の成果について、法務局から登記が完了したとの通知がありましたのでお知らせします。

▼登記完了日 24年12月10日

☎産業課国土調査係

☎985-4127



ごみ集積場所は いつも清潔にしましょう

●収集日の前日や収集後にごみを出すと、カラスなどに荒らされ、ごみ集積場所やその周辺が汚れてしまいます。ごみは、収集日当日の朝7時までに所定のごみ集積場所に出してください。

●ペットボトルやプラスチック類などの軽いごみは、ごみ集積場所などに網を使用し、散乱しないよう注意してください。

●網などをかける場合は、ごみ全体を覆うようにしてください。カラスや野良猫による荒らしの予防にもなります。

●ごみ集積場所は、収集日だけ一時的にごみを置く場所であり、ごみ捨て場ではありません。いつも清潔にしましょう。

☎町民課ごみ対策係 ☎985-4117

結婚50年目のご夫婦を表彰します

金婚式を迎えるご夫婦のお祝いを、4月に行われる各校区の老人クラブ総会に併せて行います。
町内在住で、結婚50年目のご夫婦（昭和38年中に結婚したご夫婦）は、各校区の老人クラブ会長または健康課地域包括支援センター係までご連絡ください。

●松前校区会長 重川 源
☎984-2208
北伊予校区会長 稲垣 貢
☎984-6131
岡田校区会長 山口 久夫
☎984-3451



健康課地域包括支援センター係
☎985-4205

研修会「高齢者と家族を支える人材・チームを育てていくために」参加者募集

▼内容
①講演会
「高齢者と家族を支える人材・チームを地域で育てていくために」講師 認知症介護研究・研修東京センター 永田久美子 先生
②パネルディスカッション パネリスト 松前町、伊予市、東温市、砥部町関係者

▼日時
2月14日（木）13時15分～16時10分

▼場所
松前総合文化センター 広域学習ホール

▼入場料 無料

●健康課地域包括支援センター係
☎985-4205

一人世帯高齢者の皆さんへアンケート（2回目）にご協力を

地域包括支援センターでは、一人世帯高齢者の生活状況を確認するため、日本郵便株式会社に事業を委託しています。

郵便会社の配達員が対象者の自宅を訪問して、次のような質問を5問程度しますので、ご協力をお願いします。

◆例えば：
質問①健康状態はいかがですか？
質問②かかりつけの病院はありますか？

質問③買い物に行っていますか？
などです。



アンケートで得た個人情報、地域包括支援センターの業務の範囲内で使用します。

●日本郵便(株)松前郵便局集配担当
健康課地域包括支援センター係
☎984-9828
☎985-4205

セミナー「地域でささえ、伸び伸びと育つ松前町」参加者募集

県発達障害者支援センター「あい♡ゆう」は、「地域でささえ、伸び伸びと育つ 松前町 子どもを理解し可能性を広げるサポートのために！」を開催します。

▼日時 3月2日（土）13時～17時（開場12時30分）
▼場所 松前町総合福祉センター2階 集会室

▼内容 ★講演1 13時10分～「気になる子どもを活かす子育て：保育・教育」講師 愛大教育学

部准教授 吉松靖文

★講演2 14時15分～「身体のお台づくりと手の発達」講師 県立子ども療育センター 田内広子

★講演3 15時15分～「元気をさし上げましょー」元旭化成アミダス(株)講師 石井俊男

▼申込み 県発達障害者支援センター「あい♡ゆう」
☎955-5532
FAX 955-5547

▼締め切り 2月15日（金）

平成25年度

放課後児童クラブ入会希望者募集

現在入会中の人でも引き続き入会を希望する場合は、申し込みが必要です。

◎対象児童

町内の小学校に通う1～3年生で、保護者や同居の親族（65歳未満）が就労や療養などで、下校時から18時ごろまで保育できない児童
※障がい児は6年生までお預かりできます。事前にご相談ください。

◎期間

25年4月1日（月）～26年3月31日（月）

◎時間

▷（月）～（金）…下校時～17時（11月中旬～2月中旬は16時30分）
▷（土）、緑替休日、夏・冬・春休み中の（月）～（土）…8時30分～17時（11月中旬～2月中旬は16時30分）
※保護者のお迎えが可能な人は18時まで利用可
※（月）、（祝）、お盆、年末年始、地方祭は休み

◎場所・定員数

▷松前小内なかよし学級 60人
▷北伊予小内いきいき学級 60人
▷岡田小専用施設ふれあい学級 60人

◎保護者負担額

（2カ月に1度納入通知書を送付します）
児童1人当たり月額3,000円
傷害保険料 年額 800円
夏休み期間中に午前・午後とも利用する場合は、7月1,000円、8月3,000円の追加料金がかかります。
※ひとり親家庭や兄弟で入会するときは減額措置あり

◎指導内容

指導員が体育レクリエーション、学習活動、児童の生活指導などを行います。

◎申し込み方法

入会申請書、勤務証明書または診断書など保育できない証明書（保護者や同居の親族全員分）、同意書に傷害保険料を添えて提出してください。
※申請書などは学校を通じて配布するほか、町ホームページからダウンロードできます。
※兄弟で入会の場合、勤務証明書や診断書、同意書の提出は1部で構いません。

◎締め切り 2月28日（木）

◎提出先 福祉課児童福祉係 ☎985-4114

広報まさき / 町ホームページ
有料広告募集中

広報まさき・松前町ホームページに掲載する有料広告を募集しています。希望者は、ホームページに掲載している「広告事業実施要綱」を読み、お申し込みください。

◇配布、閲覧状況

【広報まさき】
毎月1回、毎号1万1500部発行し、町内の全世帯へ配布しているほか、地区公民館やエミフルMASAKIに設置しています。
【町ホームページ】
月平均約1万4000件のアクセスがあります。

◇広告掲載枠

【広報まさき】
裏表紙下欄、3枠、大きさ＝縦40ミリ×横60ミリ、フルカラー
【町ホームページ】
トップページ下欄、7枠、大きさ＝縦50ピクセル×横200ピクセル

◇広告掲載料

1月当たり1枠2万円

●総務課広報情報係(広報まさき) ☎985-4132
財政課統計電算係(ホームページ) ☎985-4101

消防署
だより

松前消防署 ☎ 984-3404

平成 24 年救急・火災報告

平成 24 年中の松前消防署管轄内の救急・火災件数をまとめました。

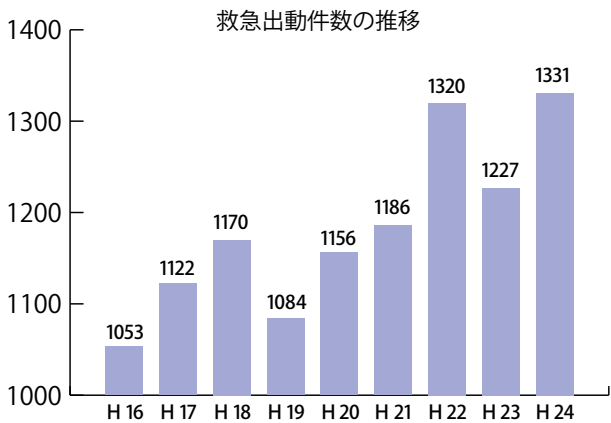
救急出動 1331 件

救急出動件数は1331件で、前年より104件増加しています。これを救急搬送人員(1276人)で見ると、軽症676人(全体比53%)、中等症442人(全体比35%)、重症、死亡158人(全体比12%)でした。軽症の割合が50%を超えています。

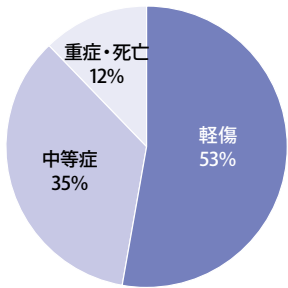
救急車の不適切利用の具体的な定義はありませんが、例えば、皆さんの家族が病院の待合室で長時間待っているときに、元気そうな人が救急車で搬送されてきたら、どんな気持ちになりますか？

そういったことを考えると、自然と不適切利用は減少すると思います。

助かる命を無駄にしないためにも、皆さんのご協力をお願いします。



平成 24 年中の緊急搬送者傷病程度の内訳



軽 傷…入院加療を必要としないもの

中等症…入院を必要とするもので重症に至らないもの

重 症…3週間以上の入院加療を必要とするもの

死 亡…診察時に死亡が確認されたもの

火災出動 11 件

火災件数は11件、火災損害額は849万9千円(調査中の1件は除く)でした。内訳は、建物火災7件、車両火災1件、その他火災3件。火災による死者は1人、負傷者は1人でした。

出火原因別でみると、放火による火災(疑い含む)5件、たばこによる火災2件、たき火による火災1件、

その他の火の粉による火災1件、乾燥機による火災1件、調査中1件となっています。

全国的にも町内でも、出火原因は放火が最も多いため、今一度、放火をさせないまちづくりを心掛けましょう。放火対策については、昨年の広報まさき11月号に掲載していますので参考にしてください。

学校校務員、生活支援員、教育相談員、給食運搬車運転手募集

職種	学校校務員	学校生活支援員	学校教育相談員	給食運搬車運転手
募集人員	6人	17人	6人	2人
申込条件	①地方公務員法第16条各号のいずれにも該当しない人 ②18歳以上63歳未満(昭和25年4月2日～平成7年4月1日生まれ)の人 ③学校教育に理解があり、指定された町立小・中学校に勤務できる人			
職務内容	・校門と校舎の開扉 ・学校施設の簡易な日常管理(掃除、除草、散水など) ・教育委員会・金融機関などとの事務連絡 ・電話取次ぎ ・来客時の湯茶の接待 ・その他、教育委員会や校長から指示された職務	・授業中の援助、移動・給食介助などに必要な支援 ・その他、教育委員会や校長から指示された職務	・児童生徒、保護者、教員などに対する相談活動 ・地域と小・中学校との連携の支援 ・学校の教育活動への支援 ・その他、教育委員会や校長から指示された職務	・食器類や給食物の運搬、搬入と回収 ・給食運搬車の整備 ・その他、教育委員会から指示された業務
勤務時間	7時～13時30分(休憩45分)	1日5時間または3.5時間(5時間13人、3.5時間4人)	週3日程度、1日4時間	9時～16時(休憩1時間)
勤務日	月～金	月～金 ※春・夏・冬休み期間中の勤務なし		
賃金	時給864円(規定の通勤手当あり)		時給864円、1,000円	時給827円
募集期間	2月4日(月)～2月15日(金)の執務時間中			
申込方法	履歴書(市販のもので可)を提出してください。 ※提出書類は返却しません。			
試験方法	書類審査のうえ、口述試験により決定します。			
面接日・場所	2月23日(土)、松前町役場庁舎 ※時間は本人に別途通知			
申込先	学校教育課 ☎ 985-4134			

広報モニター募集

■募集人員 10人

■資格 ①町内に居住する人

②松前町の選挙の選挙権を有する人

③広報モニターを経験したことがない人

■活動内容 広報モニター会議への出席(年1回)、アンケート調査の回答(月1回)

■任用期間 25年4月～26年3月

■謝礼 12,000円(年間)

■選考方法 幅広い意見をもらうため、地域、年代、性別

などを考慮して選出します。選出した人には、3月下旬にお知らせします。

■申し込み方法 住所、氏名、年齢、職業、性別、電話番号、広報まさきを読んでの感想を記入し、はがき、封書、ファックス、メールでお申し込みください。

■締め切り 2月28日(土)

■申込先 〒791-3192 松前町大字筒井631 松前町役場総務課広報情報係 ☎ 985-4132 F A X 985-4148
メール 333koho.j@town.masaki.ehime.jp

募集

県政モニター

県政に関するアンケートへの回答、県政に対する意見・提言、県政の広報活動などを行っていたら、県政モニターを募集します。

▼募集人数 300人

▼任期 平成25年4月上旬（委嘱日）から平成27年3月31日まで

▼応募資格 18歳以上（平成25年4月1日現在）で県内居住者や県内出身者など愛媛県にゆかりのある人 ※公務員を除く

▼応募用紙 県の施設、役場総合案内窓口などで入手するか、県のホームページからダウンロードしてください。

▼応募方法 応募用紙に必要事項を記入し、郵送、FAX、メールか持参により、県広報聴課に提出してください。

▼応募締切 3月15日（金）必着

問 県広報聴課

〒790-8570

松山市一番町4-4-2

☎ 912-2243

FAX 912-2248

メール kohokochi@pref.ehime.jp

放送大学4月生

お知らせ

カネミ油症患者の同居家族の認定申請

平成24年12月、油症診断基準が改定され、カネミ油症患者の油症発生当時の同居家族のうち、次の全ての要件を満たす人が、新たに認定の対象となりました。

①油症発生当時、油症患者（認定患者）と同居

②油症発生当時、カネミ倉庫製の米ぬか油を摂取

③現在、心身の症状があり、治療その他の健康管理が継続的に必要

▼平成24年度申請期限 2月28日（木）

問 県庁薬務衛生課

☎ 912-2395

宝くじの収益金

県内の宝くじ売り場でお買い求めいただいた宝くじの収益金（販売総額から当せん金などの



平成25年度第1学期（4月入学）の学生を募集しています。テレビなどの放送やインターネットを利用して授業を行う通信制の放送大学。心理学、福祉、経済、歴史、文学など、幅広い分野を学べます。

▼出願締め切り 2月28日（木）

資料（無料）の請求は放送大学

愛媛学習センター（☎ 923-8544）まで。放送大学ホームページでも受付中。

平成25年度 重信川・石手川河川愛護モニター

日常生活で気付いた河川に関する情報を重信川出張所に伝え、河川愛護思想の普及・啓発活動を行う「平成25年度重信川・石手川河川愛護モニター」を募集します。

▼募集人数 重信川と石手川の一部を9区間に区切り、1区間当たり1人

▼応募資格 20歳以上で活動範囲の近隣に住み、月1回以上の定期報告ができる人

▼任期 原則1年

▼手当 月額4000円程度

▼締め切り 3月11日（月）17時必着

活動内容、活動区間、応募方法などの詳細は、お問い合わせいただくか、松山河川国道事務所のホームページをご覧ください。

問 松山河川国道事務所

重信川出張所

☎ 958-8215

ホームページ

<http://www.skr.mlit.go.jp/matsuyan/>

青少年交換留学生（短期）

伊予市、松前町在住の高校生を対象に、世界を理解し、友好の意義を体得してもらうため、短期交換留学生を募集します。

▼募集人数 1人

▼応募資格 伊予市か松前町在住で、健康で明るく積極的な高校生（平成25年7月末現在）

▼期間 8月3日～8月24日（予定）

▼派遣先 アメリカ合衆国 ニュージャージー州北部（予定）

▼締め切り 3月15日（金）

問 伊予ロータリークラブ事務局（伊予商工会議所内 担当 大西）

☎ 982-0334

催し

第11回地域の人々と共に学ぶ緊急医療シンポジウム

腹部の救急疾患とその予防についての講演、実演、意見交換などを行います。参加は無料です。

▼日時 2月20日（水） 19時～

道路情報

冬場の道路は、積雪や路面温度の低下による路面凍結が起こります。特に、山間部の積雪・凍結や、橋梁部の凍結には注意が必要です。道路情報を利用して安全な通行を心がけましょう。

21時15分

▼場所 ウェルビア伊予銀河の間

▼内容

①実演「急性腹症発生時の対応の実際」 伊予消防等事務組合救命救急士

②講演「お腹が痛い！あなたならどうする？」 県立中央病院消化器外科部長・救命救急センター副センター長 原田雅光 先生

③講演「腹部の救急疾患とその予防 腹部動脈疾患について」 県立中央病院心臓血管外科主任部長 平谷勝彦 先生

④意見交換・質疑応答 司会 たなか消化器科クリニック院長 田中美和 先生

問 伊予医師会

☎ 982-1414

愛媛県自衛隊入隊・入校激励会ミニコンサート

▼日時 3月10日（日） 14時20分（開場）14時40分（開演）

▼場所 ひめぎんホール サブホール

▼入場料 無料（整理券が必要）

▼申し込み方法 ①返信用封筒の表面に氏名、住所を記入し、切手を貼る。②裏面に、必要枚数（4枚まで）を記入する。③返信用封筒を同封して、郵送する。

▼申込先 〒790-0003 松山市三番町8丁目352-1

▼道路情報入手先

【道路情報提供システム】

<http://www.skr.mlit.go.jp/info/regulate/kyk/jis/>

【愛媛県道路情報】

<http://road.pref.ehime.jp/index.html>

問 日本道路交通情報センター

☎ 050-3369-6638

人のうごき

（H 24.12.31 現在）

区分	人口	前月比
男	14,834	－6
女	16,399	－5
合計	31,233	－11
世帯	12,981	－5

●2月の納税●

固定資産税 第4期
国民健康保険税（普通徴収） 第8期

納期限は 2月28日（木）

◎納期限内にお納めください◎

口座振替は 2月25日（月）

町県民税・国民健康保険税（特別徴収分）2月期分は年金支給日に差し引き納付となります。



自然の優しさを感じさせる素朴で懐かしい音色。若かったあの頃に戻ってみませんか？と言う目的で、公民館事業として企画した「オカリナ教室」。当初、15人の定員に24人もの応募があり、嬉しい悲鳴！厳正に抽選を行い、7月から月2回の割合でスタートして、12月20日に終了しました。

経験者も少しいましたが、ほとんどが初めての人ばかり。オカリナを持ち方も分からないところからスタートしましたが、回を重ねるごとにみるみる上達し、講座が終わるころには、素朴で、懐かしい音色を出していました。

来年度は、「経験者コース」に全員、チャレンジです。

オカリナ教室

東公民館

神崎210
☎984-11159

おはなしかい

日時 2月23日(土) 11時
場所 文化センター2階
第2研修室

絵本や紙しばい、パネルシアターなどを使って毎回楽しいおはなしをします。皆さん、ぜひ来てみてください。

2月のふるさとライブラリー

○開館時間 9時30分～19時
○休館日 2月28日(木)

図書館

筒井633
☎985-14140

2月の新刊

◆ことり／小川 洋子
◆ジグザグは神ですか／森 博嗣
◆旅猫リポート／有川 浩
◆辛坊訓／辛坊 治郎
◆歓喜の仔 上・下／天童 荒太
◆けさくしや／畠中 恵
◆ブルーマダー／菅田 哲也
◆僕の死に方／金子 哲雄
※この他にもたくさんのお本が入っています。

松前町ふるさと ライブラリー

スタンフォードの自分を変える教室

ケリー・マクゴニガル 著 / 大和書房

心理学、神経科学、医学の各分野から自己コントロールに関する最新の見解と、意志力を強化するためのさまざまな戦略を紹介。スタンフォード大学で「人生を変える」と評価された授業を書籍化。

一般書



凸凹サバンナ

玖村 まゆみ 著 / 講談社

法律事務所を開業したばかりの田中貞夫。だが集まってくる依頼は、どれも一筋縄ではいかないものばかり。そして、実は田中にも…。掟破りのリーガル・ミステリー。

一般書



児童書

おしろのいちねん

インクリンク 絵 / オリビア・ブルックス
文 / 学研教育出版

新しいお城が建った。領主や家来が引っ越してきて、バザーをしたり、競技会をしたり楽しく暮らしていた。ところが、敵が攻めてきて…。お城での1年を追う探し絵本。

絵本



インヘリタンス 上・下

クリストファー・パオリニ 著 / 静山社

エラゴンたちは、「死の槍」を手に入れたが、敵の本拠地にたぐり寄せられていく。そして、新しい命をみごもったカトリナと戦士ローランたちに最大の危機が…。『ドラゴンライダー』第4巻(完結編)



西公民館

北黒田966-2
☎984-15313

3世代交流餅つき大会



12月8日、前日の好天が恨めしくなるような寒風の中「3世代交流餅つき大会」を行いました。前もって、婦人会の皆さんがもち米とあんこを準備してくださいました。キャンプ、遊びゲーシオンに参加した子どもたちと保護者、老人会、婦人会、有志の皆さん、先生方が協力しての餅つきの始まりです。

最初は寒さのあまり室内で餅を丸めていた子どもたち。しかし、大人が威勢のいい掛け声をかけながら楽しそうにしているのを見て、知らぬ間に2つの白の周りには子どもたちの輪が。笑顔と歓声に包まれて、瞬く間に30キロの餅をつき終えました。3世代の心が通い合った1日となりました。

包括支援

筒井710-1
☎985-14205

松前町地域包括 支援センター

高齢者の飲酒

高齢者のアルコール依存症は、高齢化社会に伴い増加しています。

アルコール依存症とは、「家庭や仕事、自分の健康などよりも、飲酒することをはるかに優先させる状態」のことです。壮年男性で、1日の平均飲酒量がビール1500ml以上、日本酒3合弱以上が、アルコール依存症を起こす危険性が高いと言われています。高齢者や女性は、これより少ない量でも危険性が高くなります。

◆高齢者の飲酒へのアドバイス

- ① 飲酒量を減らす…高齢者は、アルコールの代謝能力が低下しています。
- ② 昼間から飲まない…「することがない」とがめる人がいない」といって飲まない。
- ③ 一人で飲むお酒は控える…一人酒は飲みすぎてしまいます。
- ④ 家族のアドバイスに耳を傾ける…飲みすぎは身近な人の言葉が素直に聞けなくなります。
- ⑤ 薬とは一緒に飲まない…アルコールと相互作用をもつものがあります。
- ⑥ 肝臓などの検査を定期的に受ける…退職後は定期健診の機会が減ります。進んで検査を受けましょう。

高齢者の過度の飲酒は健康寿命にかかわります。「節度のある飲酒」を心掛けましょう。

北公民館

昌農内456-1
☎984-17529

感謝の日々

北公民館の玄関を入るとまず目に飛び込んでくる生け花。これは、10年以上にわたって自宅の花などをボランティアで生けてくださっているものです。また、その近くには今年の干支の巳を折り紙にした作品が届けられました。

12月には、新しい車椅子が寄贈されました。これで、1階は自由に、2階にはスロープを通過して館内利用ができます。

2階の図書室には、ふるさと納税を活用し、新刊図書を購入しました。話題作品はもちろんのこと、図鑑や絵本、アートの本まで多彩に取り揃えることができ、利用者が大喜びです。

こうして有形・無形のかかわりに支えられて、本館が成り立っていることに感謝の日々です。



ふるさと歴史散歩 93

～松前史談会レポート～

南黒田1番地を訪ねる

えっ!と言われるかもしれないが、「南黒田には海はないよ!」。新川の浜にはよく泳ぎにも行ったが、伊予鉄郡中線の線路より西は、伊予市の下吾川。北黒田との境界は、大洲藩との大替地の時(1635年ころ)に決められた、大谷川の曲がり角にあったあまり大きくない1本松から元気人村の入り口にある“落境の石柱”まで一直線である。

南側は、伊予市との境が大谷川の“ニツ橋”より西で複雑に入り組んでいて地図を見ながら歩いてみないと説明できない。

大谷川の東には、“ながれ”と呼んでいた南北に細長い南黒田の土地がある。この東北の隅が南黒田字“横田”。1番地は、この横田の東北の隅にある。

大谷川の“どて”は、子供のよい遊び場だった。土手道を走り回り、斜面はスベリ台になった。柳の枝の皮をむいて刀のようにして、ちゃんばらゴッコもした。遊び道具は、全部近所のお兄ちゃんの指導で自分たちが作った。スギ鉄砲も作った。椿さんのお祭りには、田んぼの中を走って行った。称名寺のある山には、メジロ捕りに連れていってもらった。天神さん(朝日天神社)や東西の細い水路は格好の遊び場だし、稲刈りの後の田んぼは、キャッチボール、たこあげ(手作り)、おにごっこなどで遊び放題だった。遊びをなんでも知っていて上手な年上の人が大将だった。小さい子の面倒もよくみていたと思う。

1 ニツ橋から上流を見る。

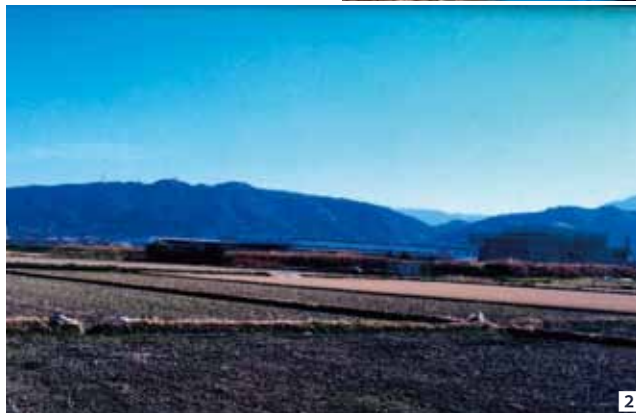
左-大谷川、中央-殿田川、右-八反地川の合流地点。

2 宗通寺から行道山を望む。

大谷川の向こう側が、南黒田一番地



1



2

2月のふるさと歴史散歩は、休みます。

問 松前史談会(鷺野) ☎ 984-5439

Boys&Girls, Be Ambitious!

頑張る子どもたちを紹介します



夢はサッカーでプロになること

久藤 涼太 くん 北伊予小5年・神崎
Hisato Ryota

サッカーに夢中の北伊予小学校5年生の久藤涼太くん。北伊予JFCで練習に励んでいます。「大切にしているのは声出しです」と話す涼太くん。5年生のキャプテンとして、よく声を出し、チームを引っ張ります。

サッカーを始めたのは2年生のとき。同じく北伊予JFCに所属していたお兄さんに影響を受けたと話します。

「練習が大変なときもあるけど、ゴールを決めたときはとっても気持ちいいです」とにっこり。ポジションはミッドフィルダー。積極的に攻撃に関わり、シュートを打ちます。

自主練習にも余念がない涼太くん。「今特に練習しているのはリフティングです。それから体力もつけたいので家の周りをランニングしています」と努力を重ねます。全ては夢を叶えるため。

「次回のドーナツリーグで優勝したいです。夢はプロになること。メッシのように確実にゴールを決められる選手になりたい」と瞳を輝かせていました。

1歳です。よろしくね

おかだ あおい
岡田 蒼生 ちゃん

西高柳

平成24年2月4日生

(父) 尚久さん (母) あすかさん

蒼生ちゃん♡お誕生日おめでとう!!お姉ちゃんと仲良くね♡



たけだ かいし
竹田 海志 くん

西古泉

平成24年2月13日生

(父) 峰康さん (母) 祐子さん

誕生日おめでとう!これからも一緒に楽しい毎日を過ごそうね♡



やまべ かぐら
山辺 栞楽 ちゃん

筒井

平成24年2月8日生

(父) 洋平さん (母) 美香さん

遊ぶの大好き♪食べるの大好き☆パパ抱っこは?もっと好き♡



しげかわ ゆうき
重川 結希 ちゃん

浜

平成24年2月29日生

(父) 圭大さん (母) 知恵さん

生まれてきてくれて
ありがとう♡



たちばな ももか
橘 百花 ちゃん

北川原

平成24年2月18日生

(父) 克典さん (母) 芙美さん

かわいい笑顔で癒してくれてありがとう。元気に大きくなあれ!



4月に1歳になるお子さん募集

背景が明るい横長の写真(デジタルデータ可。USB不可)を持参してください。*先着6人です。

募集期間 2月1日◎～2月15日◎

▶総務課広報情報係 ☎ 985-4132

食育メニューコンクール入賞作品レシピ

※
入賞

ちりめんたまごの ピーマンまきやき



エネルギー 208kcal

■材料 1人分

たまご……………1個
ちりめん……………7g
ピーマン……………½個
ひしお……………少々
油……………少々

■作り方

①溶いたたまごにちりめんを混ぜておく。

②ピーマンの種を取ってせん切りにし、耐熱容器に入れてラップをして、レンジで20秒ほど加熱しておく。

③たまご焼き器に油を熱し、①を流し入れ、ピーマンとひしおをのせ、真ん中にくるようにくるくる巻いていく。



鶴田 真子ちゃん
岡田小3年

■コメント

たまご焼きを作っていて、松前の珍味のちりめんをいれたらおいしそうだなと思って作りました。

行 会 ってこーわい ってこーわい

「氣楽ヨガ教室」

氣楽に始められて、
氣楽に続けられて、
氣楽に健康になれる教室。

No. 53

「バスタオル1枚で、氣楽に始められます」と話すのは、高橋里美さん＝西古泉＝。松前総合文化センターの和室で行う、ヨガ教室の先生です。

「心身ともに健康になれるヨガを松前の人にも知ってほしくて、4年前に教室を開きました。」という高橋さん、その想いが輪になって、約15人のメンバーが、ヨガを楽しんでいます。

2週間前に無料体験をして、始めたという宇高文子さん＝北黒田＝は、「関節が柔らかくなってきています。10年後も健康な自分が楽しみです」とにっこり。教室開講当時からメンバーである大西恭子さん＝北川原＝は、「ジムや他のスポーツだと、無理してしまう。この教室は、堅苦しくないから、無理せず続けられます」とヨガをしながら話していました。

教室は夜にも開いています。夜の部の先生、大野秀子さん＝筒井＝は、「この教室は、しゃべりながらも、小さい子連れでもオッケー。しゃべって呼吸をした方が、筋肉が伸びて健康になります。和室は、ぬくもりがありますよ」と畳に寝転がります。

襖を開けるとそこには、氣楽に健康になれるヨガ教室が確かにありました。



- 1 小さい子も一緒になってリラックスムード
- 2 おしゃべりとヨガを同時に楽しむ

無料体験受付中

☎ 090-5142-8981 (高橋)

☎ 090-7145-7386 (大野)

▼編集後記

今月の特集は「私の暮らしの選択。」です。昔の人は、モノを買うときに、直しながら一生使い、それをまた次の世代に引き継ぐことまで考えていました。今はどうでしょう…。モノを大切に暮らすを考えると、ほしくて企画しました。取材して私自身、慌ただしく過ごす毎日に反省。忘れていたことがあるのではと気付かされました。ていねいに暮らしを紡いでいきたいです。
(高橋)

新年の目標は達成できそうですか？ そのためには、「頑張る」と「無理する」は決して混同してはいけません。「頑張る」を続けると、夢が叶ったり、嬉しいことが待っていたりしますが、「無理する」を続けると、心や体がケガをしてしまいます。「頑張る」で、無理するでも、「頑張る」に、無理も「無理」でもない、無理せず、「頑張る」。その大切さを、氣楽ヨガ教室を取材して感じました。
(松田)

Proud! Japan

無料期間は残り2カ月。住基カードを作ろう

発行手数料500円が今なら無料(平成25年3月29日まで)

住基カードは、顔写真付きのものであれば、免許証などと同様に公的な身分証明書として10年間利用できます。発行手数料は25年3月29日(金)まで無料です。写真もその場で撮ります。

●申請に必要な物

①運転免許証やパスポート+保険証など ②印鑑

※写真付き身分証明書がない場合はお問い合わせください。

●受付時間 平日9時～16時

●町民課住民係 ☎ 985-4105